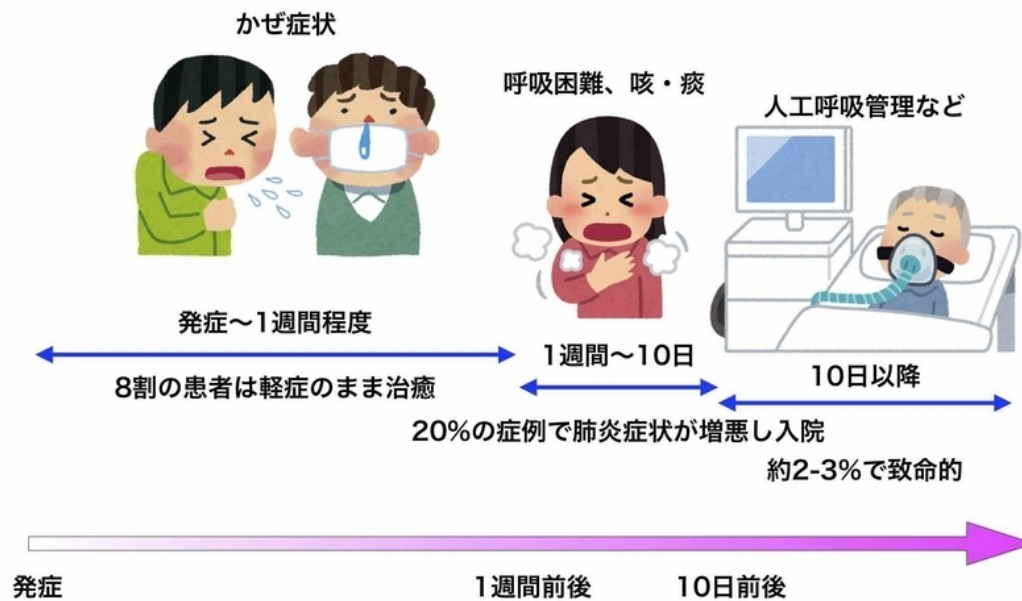


I. 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）について

新型コロナウイルス感染症の典型的な経過



新型コロナウイルス感染症では風邪のような症状から始まります。

風邪のような症状とは、微熱を含む発熱、鼻水、鼻詰まり、ノドの痛み、咳などです。中国の4万人のデータの報告によれば、患者の8割は重症化に至らず治癒するようです。

数日～1週間以降に2割弱の患者では、肺炎の症状が増強し入院に至ることがあります。そして、これまでに報じられているように2-3%の事例で致命的になりうるとされています。

特徴的なのは、症状の続く期間の長さです。新型コロナウイルス感染症は風邪やインフルエンザによく似ていますが、症状が続く期間がそれらと比べて長いという特徴があるようです。

特に重症化する事例では、発症から1週間前後で肺炎の症状（咳・痰・呼吸困難など）が強くなっていくことが分かってきました。

中国のデータでは、発症から病院を受診するまでに平均5日、そして入院までに平均10日かかることが分かっています。

つまり、発症してから1週間程度は風邪のような軽微な症状が続き、約2割弱と考えられる重症化する人はそこから徐々に悪化して入院に至るといえます。

インフルエンザは比較的急に発症し、高熱と咳、ノドの痛み、鼻水、頭痛、関節痛など

が出現します。

風邪はインフルエンザに比べるとゆっくりと発症し、微熱、鼻水、ノドの痛み、咳などが数日続きます。

しかし、新型コロナウイルス感染症は、発熱や呼吸器症状が1週間前後持続することが多く、強いだるさ（倦怠感）を訴える人が多いです。

ここが風邪やインフルエンザと新型コロナウイルス感染症とを見分ける一つの手がかりになるかもしれません。

こうした事実を踏まえて、厚生労働省は「4日以上」という目安を示したものと考えられます。

風邪やインフルエンザは4日以上症状が続くことは少ないこと、そして新型コロナウイルス感染症であったとしても8割以上の症例は自然によくなるためです。

風邪やインフルエンザのような症状があるからと言ってすぐに医療機関を受診する必要はないというわけです。

実際に、風邪の人が全員医療機関を受診すれば医療機関はパンクしてしまうでしょう。

新型コロナウイルス感染症にはどのように感染しますか？

現時点では、飛沫感染（ひまつかんせん）と接触感染の2つが考えられます。

（1）飛沫感染

感染者の飛沫（くしゃみ、咳、つば など）と一緒にウイルスが放出され、他者がそのウイルスを口や鼻から吸い込んで感染します。

※感染を注意すべき場面：屋内などで、お互いの距離が十分に確保できない状況で一定時間を過ごすとき

（2）接触感染

感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、自らの手で周りの物に触れると感染者のウイルスが付きます。未感染者がその部分に接触すると感染者のウイルスが未感染者の手に付着し、感染者に直接接触しなくても感染します。

※感染場所の例：電車やバスのつり革、ドアノブ、エスカレーターの手すり、スイッチなど

空気感染は起きているのでしょうか？

国内の感染状況を見ても、空気感染は起きていないと考えられるものの、閉鎖空間において近距離で多くの人と会話する等の一定の環境下であれば、咳やくしゃみ等がなくても感染を拡大させるリスクがあります。

無症状病原体保持者（症状はないがPCR検査が陽性だった者）から感染しますか？

通常、肺炎などを起こすウイルス感染症の場合、症状が最も強く表れる時期に、他者へ

ウイルスを感染させる可能性も最も高くなります。したがって、可能性は低いとみられていました。

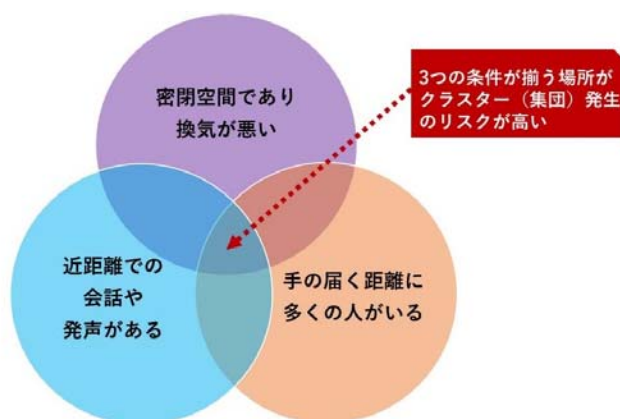
しかし、北海道などのデータの分析から明らかになってきたことは、症状の軽い人も、気がつかないうちに、感染拡大に重要な役割を果たしてしまっていると考えられることです。なかでも、若年層は重症化する割合が非常に低く、感染拡大の状況が見えないため、結果として多くの中老年層に感染が及んでいると考えられます。

一定条件を満たす場所からの感染拡大

これまでに国内で感染が確認された方のうち重症・軽症に関わらず約80%の方は、他の人に感染させていません。

一方で、一定条件を満たす場所（①換気の悪い密閉空間、②人が密集していた、③近距離での会話や発声が行われたという3つの条件が同時に重なった場所）において、一人の感染者が複数人に感染させた事例が報告されています。具体的には、ライブハウス、スポーツジム、屋形船、ビュッフェスタイルの会食、雀荘、スキーのゲストハウス、密閉された仮設テント等です。このことから、屋内の閉鎖的な空間で、人と人が至近距離で、一定時間

以上交わることによって、患者集団（クラスター）が発生する可能性が示唆されます。そして、患者集団（クラスター）が次の集団（クラスター）を生むことが、感染の急速な拡大を招くと考えられます。



感染者の糞便から感染することがありますか？

新型コロナウイルス感染症の疑いのある患者や新型コロナウイルス感染症の患者、濃厚接触者が使用した使用後のトイレは、急性の下痢症状などでトイレが汚れた場合には、次亜塩素酸ナトリウム（市販されている家庭用漂白剤等はこれにあたります、1,000ppm）、またはアルコール（70%）による清拭をすることを推奨します。

食品を介して新型コロナウイルス感染症に感染することはありますか？

食品そのものにより新型コロナウイルス感染症に感染したとされる報告はありません。ただ、食品や食事の配膳等を行う場合は、不特定多数の人と接する可能性があるため、接触感染に注意する必要があります。

コロナウイルスは熱（70度以上で一定時間）及びアルコール（70%以上、市販の手指消

毒用アルコールはこれにあたります)に弱いことがわかっています。製造、流通、調理、販売、配膳等の各段階で、食品取扱者の体調管理やこまめな手洗い、手指消毒用アルコール等による手指の消毒、咳エチケットなど、通常の食中毒予防のために行っている一般的な衛生管理が実施されていれば心配する必要はありません。WHOからの一般的な注意として「生あるいは加熱不十分な動物の肉・肉製品の消費を避けること、それらの取り扱い・調理の際には注意すること」とされています。

感染者にはどのような治療が行われているのですか？

この新型コロナウイルスそのものに効く抗ウイルス薬はまだ確立していませんが、ウイルスによる熱や咳などの症状の緩和を目指す治療(対症療法)を行います。具体的には、解熱剤や鎮咳(ちんがい)薬を投与したり、点滴等が実施されています。また、肺炎を起こした場合は、酸素投与や人工呼吸等を行うこともあります。

新型コロナウイルスに感染した場合には、原則として感染症指定医療機関の感染症病床に入院させなければならないとされています。ただし、緊急時などのやむを得ない場合には、他の入院患者に感染を拡大させないような措置が確保されていることを条件に、次の対応が可能とされています。感染症病床以外に入院する場合でも、基本的に感染症指定医療機関に搬送します。それ以外の場合でも、原則個室での入院、トイレを他の患者と共用としないなどの感染症対策を講じた病床を確保することとしています。

37.5度以上の発熱が24時間なく、呼吸器症状が改善傾向であることに加え、48時間後に核酸増幅法の検査を行い、陰性が確認され、その検査の検体を採取した12時間以後に再度検体採取を行い、陰性が確認された場合、退院となります。

感染したかもしれないと思ったら？

現在、新型コロナウイルス感染症が疑われた場合、各自治体の相談窓口で電話相談した後に医療機関の「帰国者・接触者外来」を受診することになります。

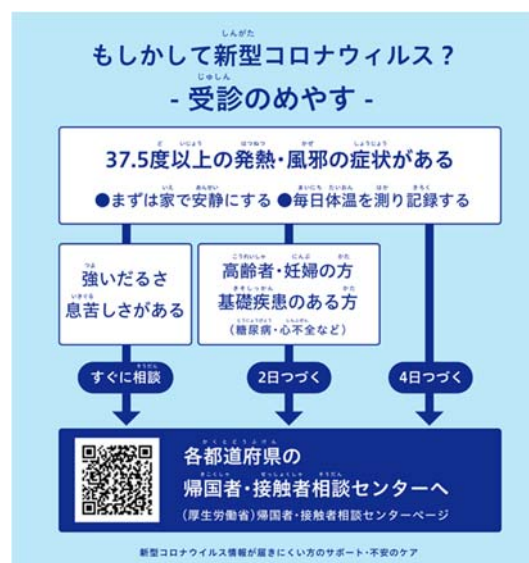
新型コロナウイルス感染症に関する一般相談窓口

(新型コロナウイルスセンター)

(電話番号) 0570-550571

(対応言語) 日本語、英語、中国語、韓国語

(対応時間) 9時から21時まで(土、日、休日を含む)



(対応内容) 感染の予防に関することや、心配な症状が出た時の対応など、新型コロナウイルス感染症に関する相談

※新型コロナウイルス感染症に関する一般的な相談は、最寄りの保健所でも対応しています。

(厚生労働省の電話相談窓口)

(電話番号) 0120-565653 (フリーダイヤル)

(受付時間) 9時00分～21時00分 (土日・祝日も実施)

家庭内に感染が疑われる人がいる場合の注意点は？

ご家族に新型コロナウイルスの感染が疑われる人がいる場合、ご家族、同居されている方は、既に感染している可能性もあります。感染者の症状が軽快してから14日間経過するまでは、健康状態を監視することをお勧めします。職場や学校に行く時など外出する際はマスクを着用し、こまめに手を洗ってください。

感染を防ぐには？

「手洗い」や、「マスクの着用」を含む「咳エチケット」などの通常の感染症対策が重要です。

最も有効な方法は手洗いです。ウイルスは一般的に粘膜から体に侵入します。手が触れやすい顔には目・鼻・口に粘膜があり、触る前に手からウイルスを洗い流しておくことが、感染予防に1番大切です。ハンドソープでしっかり洗う場合は「ハッピーバースデー」の歌2回分ほどの時間をかけると良いとされています。

マスクはした方がよいのですか？

マスクは、咳やくしゃみによる飛沫及びそれらに含まれるウイルス等病原体の飛散を防ぐ上で高い効果を持ちます。咳やくしゃみ等の症状のある人は積極的にマスクを着用しましょう。

ご自身の予防用にマスクを着用することは、混み合った場所、特に屋内や乗り物など換気が不十分な場所では一つの感染予防策と考えられますが、屋外などでは、相当混み合っていない限り、マスクを着用することによる予防効果はあまり認められていません。

重症化する患者さんについて

これまでにわかってきたデータでは、感染が確認された症状のある人の約80%が軽症、



14%が重症、6%が重篤となっています。しかし、重症化した人も、約半数は回復しています。

重症化する患者さんも、最初は普通の風邪症状（微熱、咽頭痛、咳など）から始まっており、その段階では重症化するかどうかの区別がつきにくいです。約5～7日程度で、症状が急速に悪化し、肺炎に至っています。

重症化しやすいのは高齢者と持病のある方です。

中国の状況

患者 55924 名 (2 月 20 日現在) の平均年齢は 51 歳。患者の 77.8% は 30～69 歳。

77% の症例は武漢で発生した。51.1% は男性。

主な感染経路は飛沫感染と濃厚接触感染であった。空気感染は報告例なし。糞口経路、エアロゾルによる感染は主要経路ではない。他方、中国では、人から人への感染の大半 (クラスターの約 8 割) は家庭内で発生した。

症状の 80% が軽度、深刻 (severe) は 13.8%、重篤 (critical) は 6.1%。中国全土の致死率は 3.8%。武漢では、5.8%。武漢を除けば 0.7%。

症状：発熱 87.9%、咳 67.7%、倦怠感 38.1%、たん 33.4%、息切れ 18.6%、のどの痛み 18.6%、筋肉・関節痛 13.6%、頭痛 13.6% 等

致死率：80 歳以上 21.9%、合併症無 1.4%、合併症有 (循環器疾患 13.2%、糖尿病 9.2%、高血圧 8.4%、呼吸器疾患 8.0%、がん 7.6%)。

現在の最新感染動向

東京都内の最新感染動向

<https://stopcovid19.metro.tokyo.lg.jp/>

日本国内の最新感染動向

<https://gis.jag-japan.com/covid19jp/>

日本国内の発生状況 厚労省

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html#kokunaihassei

世界の最新感染動向

<https://gisanddata.maps.arcgis.com/apps/opsdashboard/index.html#/bda7594740fd40299423467b48e9ecf6>

参考資料

新型コロナウイルス感染症対策専門家会議 2020/3/9

もしかして新型コロナウイルス感染症かなと思ったら 病院を受診するメリットとデメリット 2020/2/19

新型コロナウイルス感染症対策の基本方針の具体化に向けた見解 2020/2/24

厚生労働省 新型コロナウイルスに関するQ&A 2020/3/13

新型コロナウイルス、情報が届きにくい方(子ども・外国語話者・視覚/聴覚障害等)のサポート・不安のケア 2020/2/27

自治体・医療機関・社会福祉施設等向けの情報一覧(新型コロナウイルス感染症)

首相官邸 新型コロナウイルスお役立ち情報

日本感染症学会 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)への対応について

COVID-19に関するWHO・中国合同調査団による報告書 2020/2/28